

手順 5 工事が終わったら、仕上がりや書類を確認しましょう。

契約通りに工事が完了したことを確認し、契約書などをきちんと保管しておくことが大切です。

引き渡し時には事業者と仕上がりをチェックしましょう。

- 工事完了時には、工事の仕上がりを事業者とともに現場で確認し、説明を受けましょう。

特に設備機器の使い方などは、実演してもらって確認するのがよいでしょう。

- 手直し工事が必要な場合は、工事内容と残金の支払い時期などについて相談しましょう。

- 契約時に保証の取り決めをしている場合には、瑕疵保証などに関する説明を受けておきましょう。

- 暮らし始めてから分かることもあるので、不具合があった場合の連絡先を確かめておきましょう。

詳しくはP29へ>>



書類はきちんと保管しておきましょう。

- 契約書などの書類や図面は、整理し、大切に保管しておきます。

- 保証の取り決めをしている場合には、保証書を交付してもらうようにしましょう。

- 新しい設備機器の取り扱い説明書なども、一緒に保管しておきます。



住まいを上手に長持ちさせましょう

- 今回のリフォームの経験を活かしながら、住まいを長く大切に使いましょう。
- 住まいを上手に長持ちさせるには、問題点を早く見つけて適切に修繕していくことが重要です。リフォネットには、住まいの点検や更新・取替えの目安に関する情報がありますので、参考にしながら計画的な点検・メンテナンスを進めましょう。

基礎知識や更新・お替え「家の在障の目安」			
在障項目	基準	点検時期	点検時期の目安
モニタ・壁	汚れ、色あせ、色落ち、剥離	2~3年ごと	10~20年近く生活環境が整った場合
サッシ・ドア	汚れ、色あせ、色落ち、シーリング	2~3年ごと	10~20年近く生活環境が整った場合
窓枠、金網・サッシ	汚れ、ほり、変形、錆び	2~3年ごと(2~4年ごとに点検)	10~20年近く生活環境が整った場合
瓦屋根	オサ、剥離	2~3年ごと	10~20年近く生活環境が整った場合
外壁・下地材	ぬれ、色あせ、汚れ、ひび割れ	2~3年ごと	10~20年近く生活環境が整った場合
外構	ぬれ、色あせ、汚れ、ひび割れ	2~3年ごと(2~4年ごとに点検)	10~20年近く生活環境が整った場合
基礎	ぬれ、ひび割れ、ひびき	2~3年ごと	10~20年近く生活環境が整った場合
軒裏(軒裏充填)	ぬれ、雨漏り、ひびき、浮き	2~3年ごと(2~4年ごとに点検)	10~20年近く生活環境が整った場合
外構物	ぬれ、色あせ、汚れ、ひび割れ	2~3年ごと(2~4年ごとに点検)	10~20年近く生活環境が整った場合
周辺	ぬれ、ひび割れ、ひびき	2~3年ごと	10~20年近く生活環境が整った場合
外構・外壁	ぬれ、雨漏り、ひびき、浮き	2~3年ごと(2~4年ごとに点検)	10~20年近く生活環境が整った場合
外構・外壁	ぬれ、浮き、剥離、色あせ、変形、錆び	2~3年ごと(2~4年ごとに点検)	10~20年近く生活環境が整った場合
外構・外壁	ぬれ、浮き、剥離、色あせ、変形、錆び	2~3年ごと(2~4年ごとに点検)	10~20年近く生活環境が整った場合
土台・基礎	ぬれ、さび、腐害、浮き、ひび割れ	2~3年ごと	10~20年近く生活環境が整った場合

リフォネット「リフォームの基礎知識」より

●住まいの経歴書と点検チェックシートについて

住まいを長持ちさせるためには、日常のメンテナンスやリフォームの履歴を記録しておくことが大切です。

住宅リフォーム推進協議会では「住まいの経歴書＆チェックシート」を用意していますので、ご活用ください。

